



こーひーぶれいく

RI マークの由来

松坂 尚典

Matsusaka Naonori

齢 80 の坂を越えたので、そろそろ身辺整理をしておかなければと思い立ち、本類を片付け始めた。その時、ジャーナル「ISOTOPES AND RADIATION TECHNOLOGY, Vol.4, No.1,1966」が書棚から出てきた。このジャーナルは、今から 50 年ほど前の 1967 年に、筆者が米国ワシントン州リッチランド市の Battelle-Northwest 研究所（旧ハンフォード原子力施設）生物研究部図書室で、図書係から貰い受けたものである。

オークリッジ国立研究所（ORNL）からアイソトープが市販品として初めて出荷されてから 20 年になるのを記念し、米国原子力委員会（USAEC）がこのジャーナルを出版した。この冊子に、RI マークのことが記載されていることは知っていた。

そのような訳で、断捨離よろしく、ただ捨ててしまうのは勿体ない気がした。そこへ、Isotope News 2018 年新年特別号が手元に届いた。二ツ川編集委員長の巻頭言が目にとまり、同郷の好もあって、この古いジャーナルを押しつけがましくお送りした。すぐに返信が届き、RI マークの由来について記事にしてみてもいいかかとのこと。そのようなつもりで送ったのではなかったが、乗りかかった船ではないけれど、恥さらしを覚悟して引き受けることにした。

Isotope News 編集部からも執筆要領と共に、ORNL REVIEW（1966 - 67 年発行）のコピーがメールで届けられた。それらをスクロールしてみたところ、Vol.9, No.4（1976 年秋号）の 23 頁に、M.B. Hawkins 氏のことが写真付きで紹介されている。1946 ~ 1948 年まで、ORNL の Chemistry Division に所属し、デザイン・エンジニアとして働いていたという。また、今日広く使用されている放射線のシンボル・マークを創案したことも紹介されている。彼は、現代の Betsy Ross（星条旗の創案者）

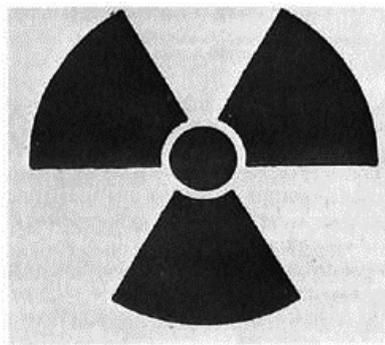


Fig. 2 Three-bladed radiation symbol designed by Corp. Myron B. Hawkins.

写真 1 Myron B. Hawkins 伍長がデザインした三つ葉の放射線シンボル

であるとも書かれている。編集部としても、RI マークの創案者について情報を既に得ていたことが分かる。

前述のジャーナルには、Oscar M. Bizzell 氏が“Early History of Radioisotopes from Reactors”という総説を寄せている。そこには、ORNL で製造された 1 mc (mCi の旧単位表示) の ^{14}C が、1946 年 8 月 2 日に商品として初めて出荷されるに至るまでの経緯や、出荷する場に立ち会っている人々の写真も載っている。その写真のなかに、軍服姿の Myron B. Hawkins 伍長の姿も見える。出荷される RI 包装物に、Hawkins 伍長がデザインした三つ葉マークが書き入れられたらしい。本人が直接描いたのか、それとも他の人が書き入れたのかは定かでない。

筆者がウェブサイト上で“Isotopes and Radiation Technology 1966”と打ち込んで検索してみたところ、このジャーナル名で“v.3-4 1965/66-1966/67…”と出てきた。それを開くと、同誌の Vol.4, No.1 に辿り着くことができる。ORNL REVIEW の情報と写真 1 に記されている説明から、ORNL の Myron B. Hawkins 伍長が RI の三つ葉マークを創案したことは、ほぼ間違いないと考えている。しかし、筆者の思い違いがあるかもしれないので、誤りがあれば御教示いただけると幸いです。

（岩手大学名誉教授）